

人と犬が 幸せに暮らす

兵庫県動物愛護センターから譲渡され、市内で家族と幸せに暮らしているワンちゃんたちを紹介します。



富山さん宅 ランちゃん

ランちゃんは92歳のおばあちゃんのおきパートナー。男性が苦手な内弁慶ですが、お父さんのお出迎えは欠かせないやさしいワンちゃんです。



富永さん宅 蘭ちゃん

蘭ちゃんは人懐っこく元気な、我が子のような存在。毎朝2時間の散歩は欠かさず、夜はみんなで一緒に寝ています。



白樫さん宅 白ちゃん

昔からワンちゃんのいる生活で、多くのことを教えてもらいました。人生最後の1頭を飼うにあたり、感謝の気持ちを含めて、恩返しのため譲渡を受けました。

白ちゃんは少し臆病ですが、人懐っこく頭のよい最高のパートナーです。



兵庫県動物愛護センター
事業課長 犬伏源

1. 終生飼養について

ペットの命は、飼い始めたその日から飼い主に委ねられ、飼い主は最期まで看取る責任があります。ペットを飼う前に、毎日の世話やしつけ、近隣への配慮等、考えておくことはたくさんあります。

生きる全てをあなたに依存するペットを幸せにしてあげること、その努力ができるかを飼うまでもう一度自分自身に問いかけてください。

問い合わせ 兵庫県動物愛護センター ☎06-6432-4599

2. かわいそうな犬や猫を減らす取り組み

動物愛護センターでは、引き取った犬や猫のうち、健康でおだやかな性格の犬や猫を新しい飼い主にお譲りする事業を積極的に行っています。処分される命を0に近づけるには、ペットの飼い主1人1人が「正しく」「楽しく」「最期まで」の3点を忘れずに、飼い主としての責任を果たすことが重要です。

特に猫の飼い主さんには、「完全屋内飼養」「不妊措置の実施」「所有者明示」の3点をしっかり守っていただきたいと考えています。

狂犬病予防注射(集合注射)と犬の新規登録

| 日程 | 実施場所 | 実施時間 |
|---------|-------------|---------------|
| 4月5日(水) | あしや温泉駐車場 | 午後1時10分～1時40分 |
| | 東芦屋公園 | 午後2時～2時30分 |
| | 奥池集会所前 | 午後2時50分～3時20分 |
| 4月6日(木) | 岩園保育所前 | 午後1時10分～1時40分 |
| | 津知公園 | 午後2時～2時30分 |
| | 打出集会所前 | 午後2時50分～3時20分 |
| 4月7日(金) | 芦屋中央公園 | 午後1時10分～2時 |
| | 親水中央公園 | 午後2時20分～3時20分 |
| 4月8日(土) | 山手夢保育園前 | 午後1時10分～1時40分 |
| | 朝日ヶ丘北公園 | 午後2時～2時30分 |
| | 市役所本庁舎南館玄関前 | 午後2時50分～3時20分 |

●注意事項

☆「狂犬病予防注射の案内通知」(市から送付済み)を必ず持参ください。

案内通知がない場合は、接種の順番が前後することがあります。

☆注射の前は、必ず犬の健康状態を確認してください。

☆注射の際は、飼い主さんに犬を保定していただきます。

☆全会場としお車でのお越しはご遠慮ください。

●手数料(1頭につき)

| 区分 | 登録済みの場合 | 新規登録の場合 |
|-----------|---------|---------|
| 予防注射料金 | 2,850円 | 2,850円 |
| 犬の登録手数料 | — | 3,000円 |
| 注射済票交付手数料 | 550円 | 550円 |
| 合計 | 3,400円 | 6,400円 |

問い合わせ
環境課
☎38-2050

獣医さんに

狂犬病と予防注射の大切さを

を聞きました

スター動物病院(春日町12-4)
西澤 貴仁 先生



1番に言いたいのは“狂犬病の予防注射は法律により年1回必ず接種しないとイケない”ということです。

狂犬病は国内で約60年間発生はありません(※)が、国外では毎年5万人以上のかたが亡くなっているといわれています。特に、東南アジア、中国、インドに感染が集中しており、哺乳類のほとんどが感染源となるため、いつどのような形で日本に狂犬病ウイルスが侵入してくるか分かりません。さらに、人に感染し発症すればほぼ100%死亡する大変怖い病気です。人は犬に咬まれて感染することが多いため、人との接触の多いワンちゃんへの予防注射は公衆衛生上非常に重要です。狂犬病予防法では市へのワンちゃんの登録も義務づけています。予防接種の把握や案内、災害時のペットの管理・把握、逃走時の個体識別などのため重要です。

予防注射は、なるべく4～6月に接種してください。4月上旬に芦屋市獣医師会でも集合注射を実施していますので、お近くで実施の際はお気軽にお越しください。また、ワクチンアレルギーや持病を持っているワンちゃんは接種する前にかかりつけの獣医さんに相談してください。

※海外で感染し、日本で発症し死亡した輸入症例としては、直近で平成18年にフィリピンからの帰国者で2例あります。